

2、目標達成計画

事業所名 グループホーム悠友

作成日 令和 5 年 1 月 26 日

【目標達成計画】

順位	優先	番項目	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1		1	職員全体で理念をどう実践していくかを話し合い、目指すところを共有され、より一層の理念の実践を期待する。	ご利用者様が理念として掲げているような生活が出来るような支援を行う	ホームの理念を毎日唱和しているが、理念の実現のために職員間で、コミュニケーションを図り、各ユニットごとや全体で研修していく。 利用者様ごとの状態の把握(問題点) 職員の対応、毎日振り返りと反省 職員間の良好な関係づくり 毎日(月)のレク(行事)時の理念の唱和を継続していく	6-12月
2		2	事前に議題に関する意見のアンケートを実施したり、月ごとのテーマを決めた話し合いでより充実した職員会議の開催を期待します。	毎月の会議の議題について、会議後に次回の会議のテーマやアンケート内容を決定し充実した職員会議にする。	職員会議では、経過報告を行い、意見反省点を聴取している。行事計画については、担当者を決めて、月々の計画を議題として意見交換している。研修は、年間計画をたて実施してきた。引き続き実施していく。 職員会議の議題等については、アンケートを実施したり、随時意見を吸い上げるような対策を取り会議に図っていき、充実したものにす	2-3カ月
3		3	自然災害や新型コロナウイルス感染症発生時の事業継続計画の策定とともに、大雨時に避難住民を受け入れる為にも、地域ぐるみの備えを期待します。	作成中の自然災害発生時の事業継続計画を早期に完成させる。(新型コロナウイルス感染症発生時の事業継続計画については策定済)	原案を早期に作成し職員全員で検討し完成させる。 避難住民の受け入れについては、空室のある時は、これまで通り前向きに対応する。	6-9ヶ月